

上級簿記Ⅰ

科目ナンバリング ACC-201
選択必修 2単位

塚原 慎

1. 授業の概要(ねらい)

簿記は企業活動を記録,計算,整理するための技術であり,財務諸表を作成するための手段であると言われています。本講義では,簿記原理Ⅰ・Ⅱの履修を前提とし,応用的な簿記処理を学びます。

2. 授業の到達目標

本講義の到達目標(ねらい)は次のとおりです。

- ① 商業簿記に関する応用的な知識を理解・習得し,他者に説明することができるようになること。
- ② 簿記・会計に関連する知識を活用した応用・発展的なディスカッションを行えるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

原則,期末試験の評点により判断しますが,平常点(講義への出席態度や課題等の提出状況)も加点要素となります。

4. 教科書・参考文献

教科書

新田忠誓 他 『エッセンス簿記会計』(最新版) 森山書店

参考文献

新田忠誓監修 『全経簿記能力検定試験公式問題集2級』(最新版) ネットスクール出版

5. 準備学習の内容

教科書には練習問題がついております。また講義の際には演習プリントを配布することがありますので,受講者は,各自講義で取り扱った内容について,その都度復習しておいてください。

6. その他履修上の注意事項

- ① 毎回,電卓とノートを用意してください。
- ② 簿記原理Ⅰ・Ⅱを履修している(に相当する知識を有している)ことを前提とした講義を展開します(ただし,履修対象を制限するものではありません)。

7. 授業内容

- 【第1回】 講義の進め方,成績評価の方法について説明します。
- 【第2回】 商品売買取引の会計処理について説明します。
- 【第3回】 現金と預金の会計処理について説明します。
- 【第4回】 手形取引の会計処理について説明します。
- 【第5回】 有価証券の会計処理について説明します。
- 【第6回】 有形固定資産の会計処理について説明します。
- 【第7回】 その他の債権債務の会計処理について説明します。
- 【第8回】 貸倒損失と貸倒引当金について説明します。
- 【第9回】 資本金と税金の会計上の取り扱いについて説明します。
- 【第10回】 その他の収益および費用と訂正仕訳について説明します。
- 【第11回】 伝票について説明します。
- 【第12回】 決算整理について説明します。
- 【第13回】 8桁精算表の作成方法を説明します。
- 【第14回】 損益勘定(損益計算書)と残高勘定(貸借対照表)の作成方法を説明します。
- 【第15回】 本講義の総括を行い,本講義における重要論点をまとめます(オンライン講義)。